

「始まらなければ終わらない」

校長 堀井 賢治

令和2年4月1日に本校の校長として着任いたしました堀井賢治です。どうぞよろしくお願ひします。例年のこの時期であれば、春の訪れを感じながら、ひとつ上の学年になることへの期待に胸を膨らませていたのではないのでしょうか。すでにご案内のように、3月初めからの臨時休業が春休みを経て5月6日まで延長されることとなりました。ようやく学校に登校して先生や友達と一緒に勉強したり部活動をしたりできると思っていた生徒の皆さんが多いと思いますが、健康や安全を第一と考えて小平市としてこのような決断をしました。ご家庭での負担をおかけすることになると思いますがご理解とご協力をおねがひします。

さて、私がときどき思い出していることがあります。教員になってしばらくした頃、新年度を迎えるにあたって自信を失っていることがありました。授業が未熟で、自分が担当するクラスの生徒との関係もうまくいかず、何をどうしてよいのか、このままの自分がやっていけるのだろうか、最後までやり遂げることができるのだろうか、そんなことを悩んでいたとき、当時の副校長先生から次のような言葉をかけられました。

「始まらなければ終わらない」

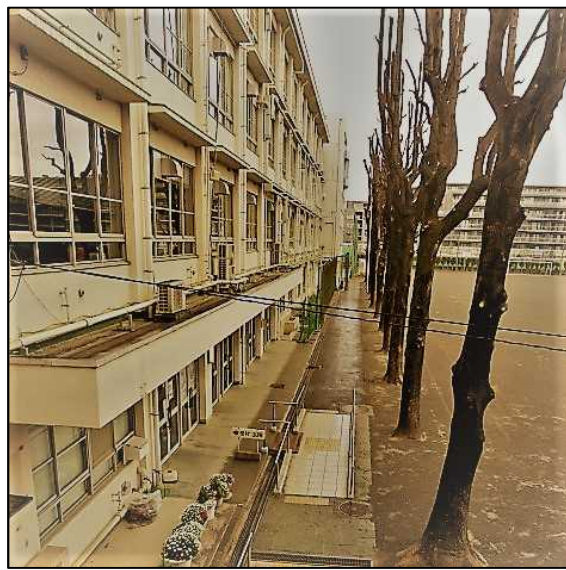
この言葉を聞いたとき、そんなことは当たり前のことなので、何が言いたいのか意味がよくわかりませんでした。どんなことを私に伝えたいのか聞いてみると、

「始まるまではいろいろと思い悩んで苦しむけれど、生まれればいずれ終わりが来るからきつとなんとかなる。だから自分の正しいと思うことを信じてがんばってみなさい」という意味だと説明してくれました。あれからもう20年くらい経っていますが、今でもその言葉は私が一步踏み出せなくて悩んでいるときには背中を押してくれています。

現在、世界中の人が新型コロナウイルスと向き合って、どのようなことができるのか毎日知恵を絞って考え、最善と思う道を探しています。これまで例のないことなので、何が正しくて、どうしたらうまくいくのか迷うことも多々あります。しかし、今回の臨時休業も含めて様々な対応はすでに始まっています。見通しが立たないところはありますが、終わりに向かって進んでいると私は信じています。「始まらなければ終わらない」乗り越えた先には必ず明るい未来が待っている。そう信じて力を合わせて前に進みましょう。



令和3年3月完成予定の新体育館工事の様子(4/5 撮影)



ユリの木前の通路がきれいになりました。

《令和2年度生徒数》

4月6日現在

	1年			2年			3年		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
1組	17	15	32	19	16	35	18	17	35
2組	16	15	31	19	16	35	18	17	36
3組	16	15	31	19	16	35	18	16	36
4組	16	15	31	20	16	36	18	18	36
5組	17	14	31	19	16	35	19	17	36
7組	7	1	8	4	2	6	6	1	7
合計	89	75	164	100	82	182	97	88	185